



懐かしの映写機が映し出す、デジタルではないフィルム映画。八千代座の大スクリーンをご覧ください！

① 10:00～GO (123分)



2001年「GO」製作実行委員会/ 監督・行定勲、出演・窪塚洋介、柴咲コウ、山崎努、大竹しのぶ、細山田隆人、山本太郎、新井浩文、水川あさみ、塩見三省、大杉漣、萩原聖人。原作：金城一紀(直木賞)、脚本：宮藤官九郎

当時新進気鋭の若手監督・行定勲が描く、在日韓国高三世の高校生が、親世代との関係、魅惑的な恋、親友の喪失、自らの将来に煩悶しながら、アイデンティティを確立していく物語。

自身のアイデンティティの葛藤を抱えながらもクールに生きようとする主人公を体現した窪塚洋介の魅力や、バイタリティ溢れる両親役を大竹しのぶと山崎努が怪演。差別の問題の痛みを伴いながらも、ポップでエネルギッシュな疾走感溢れる痛快な青春ドラマ。

「キネマ旬報」ベストテン第1位のほか、国内映画賞(作品賞、監督賞、主演・助演・男女優賞、脚本賞など)を独占した。

〈12:00頃～昼食休憩1時間〉

上映時間

9:30 開場

1. 10:00 「GO」 昼食休憩 1時間

2. 13:00 「ゆれる」

3. 15:15 「幻の光」 17:04 終了

八千代座 冬の映写会 15

② 13:00～ゆれる (119分)



2006年「ゆれる」製作委員会/ 監督・西川美和、出演・オダギリジョー、香川照之、伊武雅刀、新井浩文、真木よう子、蟹江敬三、木村祐一、ピエール瀧、田口トモロヲ

オリジナル脚本の『蛇イチゴ』(2002)で映画監督デビューし、一躍注目を集めた西川美和の長編第2作。日常生活を見つめながら普通の人間の奥深くに秘められた心理を冷徹に描きだした本作は、多数の賞を受賞し、監督の評価を確立した。

プレイボーイの弟を演じたオダギリジョーと家業を継いだ真面目な兄役の香川照之も多くの男優賞を受賞。

母の一周忌で故郷の実家に帰った写真家が、恋人だった幼馴染と兄の親しい様子を見て、兄に隠れて彼女を誘う。翌日、兄と彼女と一緒に渓谷へ出かけるが、彼女がつり橋から転落し、一緒にいた兄は裁判にかけられる…。事故か事件か、主人公は目撃したのか、真実は何か、多くの疑問に重ねて、兄弟の心理的葛藤が交錯する緊張感に満ちた心理劇。

③ 15:15～幻の光 (109分)



1995年 テレビマンユニオン/監督・是枝裕和、出演・江角マキコ、内藤剛志、浅野忠信、柏山剛毅、渡辺奈臣、木内みどり、柄本明、桜むつこ、赤井秀和、市田ひろみ、寺田農、大杉漣、吉野紗香 原作：宮本輝(同名小説)

是枝裕和の劇映画監督第一作。幼い時に祖母の失踪を防げなかったことを悔いる女性が、幸せな結婚生活の最中に突然、夫に自殺されてしまう。数年後、幼子を連れて能登の一家に嫁いだ彼女は、新しい家族と平穏で幸福な日々を過ごすのが、かつて愛する人に去られた心の傷が彼女の心を苛んでいく…。

多数のテレビドキュメンタリーを手掛けた是枝監督が、テレビとは異なる映画的な表現としてロングショットを多用し、登場人物が知覚する光や音とともに彼らの感情を表現する方法で、喪失と心の再生のドラマを描いた。「キネマ旬報」ベストテン第4位、ヴェネチア国際映画祭金のオゼツラ賞ほか、国内外で多くの賞を受賞。

令和6年

1月27日(土) 開場9:30

観覧料 一般券 (1作品のみ鑑賞券) 500円  
通し券 (3作品観られる鑑賞券) 1,000円

会場 八千代座

【ご来場のお客様へのご協力をお願い】

- ◆ 入場時には、必ず手指消毒をお願いいたします。
- ◆ 発熱がある場合、咳咽痛などの症状がある場合は、ご来場をお控えください。
- ◆ 館内での座席は、周りの方と前後の間隔を取って鑑賞してください。
- ◆ 館内では大きな声での会話を控えてください。

主催：一般財団法人山鹿市地域振興公社・国立映画アーカイブ

特別協力：文化庁・一般社団法人日本映画製作者連盟・

全国興行生活衛生同業組合連合会・東映株式会社・東宝株式会社

来場者にはカイロをお渡しします。暖かい服装で、ひざ掛けなど防寒対策をお願いします。

チケット販売：棧敷茶屋 (八千代座前)

TEL 0968-44-8221 電話予約OK

お問い合わせ：八千代座

TEL 44-4004

